

おしえて！下水道

～皆さんの生活を支える三浦市公共下水道についてご案内～

公共下水道は、皆様の健康や安全・安心な生活を維持するために、24時間365日稼働している重要な公共インフラです。私たちは、これら下水道関連施設を長く、賢く使い次世代へと確実に引き継ぐため様々な取組を実施しております。皆様に、これらの取組を知って頂くため、公共下水道事業の経営状況などをお伝えしていきます。

下水道事業の収入源について

人口減少等により経営環境が厳しさを増す中、三浦市上下水道部下水道課では、これまでも運転維持管理業務の包括委託化や、公営企業会計の適用等、経営改善に向け様々な取り組みを進めてきたところですが、事業運営費の大部分を一般会計繰入金(基準内及び基準外)によりまかなっているのが現状です。

公共下水道事業の主な歳入としては、一般会計繰入金、使用料及び下水道枝線整備(面整備)に伴う受益者負担金が挙げられます。この一般会計繰入金は、建設費に係る元金償還金等の主な財源となっており令和2年度をピークに減少傾向となりますが、一般会計繰入金に依存した財政構造は解消されない見込みです。



公共下水道事業の歳入・歳出の概要

「おしえて！下水道」は、上下水道部下水道課が作成しました。市のホームページでは、カラー版を公表しています。問い合わせ等は、下記までお願いします。

電話番号：046-882-1111内線263



段階的な経営構造の改善について

老朽化する下水道関連施設を健全な状態に保ち、安定した汚水処理サービスを将来世代へと確実に引き継ぐために、段階的な経営構造の改善が必要と考えています。まずは、基準外繰入金としてもらっている維持管理及び建設改良に係る費用を使用料でまかなえるようにすることも一案です。

財政収支シミュレーションを実施したところ、20か年で26.2%の使用料値上げが必要という結果を得ています。しかし、市民生活等への影響を考慮し、令和4年度から4年ごとに4.4%の段階的な使用料の値上げが現実的と考えています。

(単位：百万円)

	R4~	R8~	R12~	R16~	R20~	R24~	合計(平均)
歳出計	1,157	989	945	940	947	945	5,923(987)
歳入計 下水道使用料	997	944	893	843	790	744	5,211(869)
不足額	-160	-45	-52	-97	-157	-201	-712(-119)

処理人口	12,000人	11,000人	10,000人	9,500人	8,500人	8,000人	-
必要となる値上率 (案積値)	4.4%	8.8%	13.2%	17.6%	22%	26.2%	26.2%
世帯平均	3,600円	4,000円	4,400円	4,500円	4,900円	5,200円	-

維持管理費及び建設改良費を見込んだ下水道使用料(案)

終わりに

平成29年に策定した経営戦略においても、「平成31年度に下水道使用料の見直しを行うこと、及びそれ以降も4年に一度、4%程度で見直しが必要」となる旨が記載される等、一般会計繰入金に依存した経営体質の改善要請が高まっています。住民の皆様への情報発信を怠らず、市議会、審議会等からご意見を頂きながら、経営状況の段階的な改善と公共施設の計画的な点検・更新の両立に取り組んでまいります。